

令和3年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

令和3年度予算査定は、令和2年11月から令和3年1月にかけて実施し、令和3年2月15日に、令和3年度予算案を記者発表いたしました。

令和3年度の各会計予算案は、総合計画の将来像の実現に向けて、重点プロジェクトや総合戦略を中心とした様々な施策や事業を盛り込んだものとなりました。

令和3年度予算の主な事業の査定内容について、お知らせいたします。

主な事業の査定内容です。

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
会議録検索システム導入事業 平成28年以降の本会議の会議録について、キーワードや発言者などで検索し、閲覧することができるようにするため、会議録検索システムを導入します。	要求額				1,506	会議録検索システムは、会議録をインターネットに公開して、検索できるシステムです。キーワード、関連語、発言者、会議名、年度指定などで検索することができます。 議会での審議内容を様々な視点から検索することが可能となることで、市民の皆さんに議会活動をもっとよく知っていただくとともに、議員の議会活動に対する支援につなげるため、会議録システムの導入を図ります。 また、会議録システムを導入することで、議員、関係者に配布している会議録の印刷部数を減らし、コスト削減につなげてまいります。
	査定額				1,506	
	○実施	1,506				

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
生活困窮者自立支援事業 生活困窮者が抱える生活や仕事での様々な悩みに対し、その方に必要な情報の提供や助言、関係機関との連絡調整など、自立に向けた支援を包括的かつ計画的に行います。	要求額					生活困窮者自立支援事業は、生活困窮者などの地域の要援護者に対して、自立・就労に向けた様々な支援サービスを、総合的・一体的に提供することで自立を促進することを目的とした事業です。 本市では、相談に対し必要な助言や関係機関との連絡調整を行う『自立相談支援』、家計に課題を抱える方の相談に対し、家計の改善に向けた専門的な助言、指導を行う『家計改善支援』を実施していましたが、これらに加え、就労に向けた準備としての基礎能力の形成、計画的な支援を行う『就労準備支援』を令和3年度から実施し、生活困窮者に対する支援の充実を図ります。
	8,467	6,154			2,313	
子育て短期支援事業 一時的に養育が困難になった児童や、養育に不適切な環境となった児童を、施設等で一定期間お預かりします。	査定額					保護者が入院等で不在にならざるを得なくなった際、近隣に親族等がない家庭においては、預け先がないことにより、児童の放置や、適切でない養育環境になってしまう恐れがあることから、一時的に養育を行います。 また、保護者の育児疲れ、家族関係の悪化等により一時的に養育環境が悪化した場合においても、一時的に養育することで、虐待や育児放棄といった最悪の事態を未然に防ぐことも期待できます。 当初予算では、預け先への委託料のほか、預かり期間中の怪我や物損等に備える保険料を計上いたしました。
	8,467	6,154			2,313	
	○実施					
子育て短期支援事業 一時的に養育が困難になった児童や、養育に不適切な環境となった児童を、施設等で一定期間お預かりします。	要求額					保護者が入院等で不在にならざるを得なくなった際、近隣に親族等がない家庭においては、預け先がないことにより、児童の放置や、適切でない養育環境になってしまう恐れがあることから、一時的に養育を行います。 また、保護者の育児疲れ、家族関係の悪化等により一時的に養育環境が悪化した場合においても、一時的に養育することで、虐待や育児放棄といった最悪の事態を未然に防ぐことも期待できます。 当初予算では、預け先への委託料のほか、預かり期間中の怪我や物損等に備える保険料を計上いたしました。
	513	316		37	160	
子育て短期支援事業 一時的に養育が困難になった児童や、養育に不適切な環境となった児童を、施設等で一定期間お預かりします。	査定額					保護者が入院等で不在にならざるを得なくなった際、近隣に親族等がない家庭においては、預け先がないことにより、児童の放置や、適切でない養育環境になってしまう恐れがあることから、一時的に養育を行います。 また、保護者の育児疲れ、家族関係の悪化等により一時的に養育環境が悪化した場合においても、一時的に養育することで、虐待や育児放棄といった最悪の事態を未然に防ぐことも期待できます。 当初予算では、預け先への委託料のほか、預かり期間中の怪我や物損等に備える保険料を計上いたしました。
	513	316		37	160	
	○実施					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容																
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源																	
こどもの遊び場整備事業 中心市街地にある商業施設の一部を活用し、季節や天候に関係なく子どもたちが遊べる施設を整備します。	要求額 57,000	3,066			53,934	こどもの遊び場整備については、平成30年度に実施した「子ども子育て支援に関するアンケート」において、多くのニーズがあることが確認できました。 そのため、昨年度の予算査定や、ローリングなど様々な場面で議論を行ってきましたが、今般、中心市街地の商業施設と、こどもの遊び場の設置について、一定の協議が整いましたので、遊具の設置や授乳室などの整備にかかる経費を当初予算に計上いたしました。																
	査定額 35,000 △一部見直し						3,066	31,000	934													
多子世帯の保育料軽減支援事業 保育所等を利用する3歳未満の幼児で、第2子以降の保育料を無償化し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。	要求額（歳入） 24,176				24,176	令和元年10月より、3歳以上の幼児の保育料無償化がスタートしましたが、0～2歳の幼児は無償化の対象外となっています。 新年度からは、3歳未満で第2子以降の幼児の保育料を無償化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。																
	査定額（歳入） 24,176 ○実施						24,176	24,176														
保育料軽減による予算への影響額（千円） [公立保育所分] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>軽減前</th> <th>軽減後</th> <th>軽減影響額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通保育料（歳入）</td> <td>31,218</td> <td>24,176</td> <td>▲ 7,042</td> </tr> </tbody> </table> [認定こども園等分] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>軽減前</th> <th>軽減後</th> <th>軽減影響額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付金（歳出）</td> <td>396,791</td> <td>404,794</td> <td>8,003</td> </tr> </tbody> </table>								軽減前	軽減後	軽減影響額	普通保育料（歳入）	31,218	24,176	▲ 7,042		軽減前	軽減後	軽減影響額	給付金（歳出）	396,791	404,794	8,003
	軽減前	軽減後	軽減影響額																			
普通保育料（歳入）	31,218	24,176	▲ 7,042																			
	軽減前	軽減後	軽減影響額																			
給付金（歳出）	396,791	404,794	8,003																			

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
保健センタートイレ改修工事 保健センターに設置されているトイレの一部を、温水洗浄便座に改修し、利用環境、衛生環境の向上を図ります。	要求額 2,800				2,800	保健センターは、母子保健事業や、各種検診の実施会場として、妊婦さんや高齢者、障がいをお持ちの方も訪れる施設ですが、トイレの洋式化、温水洗浄便座化が進んでいない状況でありました。 このため、トイレの改修について議論を行ってまいりましたが、保健センターも含め、多くの公共施設の老朽化対策に費用を要する当市の状況から、最低限必要な数の温水洗浄便座改修費用を計上いたしました。
	査定額 850 △一部見直し			800	50	
母子里牧場整備事業 市営母子里牧場の電牧柵とパドックを整備し、牛の事故防止と、育成環境の充実を図ります。 ※電牧柵 動物に慣れることのない痛み（電気ショック）を経験させて、動物の心理的バリアー（警戒心）により柵に近寄りたくさせる柵のことです。 ※パドック 牛の健康状態の確認や治療などを行う際、一時的な繋留場として活用される施設で、牧場に欠かせない設備です。	要求額 7,846				7,846	本市には、旧名寄地区の市営牧場と、旧風連地区の母子里牧場の2つの牧場があり、それぞれ活用しておりますが、母子里牧場は、老朽化が進んでいる状況となっております。 現在、JA道北なよろで整備中の哺育・育成センターの稼働と合わせて、市営牧場を整備することによって、酪農家の労働負担の軽減、生産性の向上、経費削減を図り、酪農経営の安定に繋げていきます。 当初予算では、第7区の電牧柵設置工事とパドックの修繕費を計上いたしました。これにより、母子里牧場の受入頭数が100頭ほど増加することが可能となります。
	査定額 7,846 ○実施			7,500	346	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
なよろ温泉サンピラー改修実施設計委託 老朽化が進んでいる、なよろ温泉サンピラーの温浴施設の改修に向けた実施設計を行います。	要求額 15,000				15,000	市民の健康増進、観光事業の発展、冬季スポーツの振興を目的とした改修を実施するため、まずは、市民ニーズの高い、老朽化している温浴施設の改修に向けた実施設計にかかる経費を予算に計上いたしました。 なお、設計にあたっては、平成30年度に実施した基本設計、令和元年度に途中まで実施した実施設計を活用し、経費の圧縮を図ります。
	査定額 15,000 ○実施		15,000		0	
ピヤシリスキー場人工降雪機設置 ピヤシリスキー場に人工降雪機を導入して、スキー場の早期オープン、合宿・大会誘致につなげようとするものです。	要求額 196,042				196,042	人工降雪機の導入については、ウインタースポーツを楽しむ場の早期提供、インバウンド対応、冬季スポーツ拠点化といった市の施策を推進するため、中長期的なスキー場施設整備の一つとして、調査・研究を行ってまいりました。 令和2年度は、調査・研究の一つとして、官民間問わず多くのスキー場経営に携わっている会社から情報収集を行うとともに、人工降雪機の導入実績があり、アルペンスキーの合宿・大会の先進地である国設阿寒湖畔スキー場の視察を実施しました。 その結果、本市の気象データをもとに人工降雪機を導入した場合、例年より一定程度早期かつ安定的にオープンできる可能性がある一方で、ゲレンデ整備を実施したうえで人工降雪機を導入した方がより効果的であること、また、先進地スキー場における合宿による経済効果は、スキー大会の開催と合宿がセットで効果を発揮することなどがわかりました。また、本市の場合、12月上旬は既にジャンプ、クロスカントリー大会が開催されており、宿泊施設や大会運営スタッフの確保など課題も確認されました。 これらのことから、当初予算ではゼロ査定とし、今後につきましては、ピヤシリスキー場の気象データの収集を行い、人工降雪機の設置も含めて、どのような整備がスキー場運営、冬季スポーツ拠点化の推進に効果的か、引き続き調査・研究し、検討していくことといたしました。
	査定額 0 × ゼロ査定				0	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
除排雪担い手育成確保事業 名寄市の除排雪業務に携わる担い手の育成・確保に向け、研修会や免許取得にかかる費用の一部を助成します。	要求額 700				700	本市の除排雪事業の大きな課題として、除排雪業務を担う人材の不足が挙げられます。全国、全道的に人材が不足している状況であり、持続可能な除排雪体制の構築は、喫緊の課題となっています。 こうしたことから、除排雪体制の維持、冬期間の安全な生活環境の確保を図るため、除排雪に特化した担い手対策の施策を開始します。 当初予算では、技術継承や訓練に必要な経費、講習会や研修会受講にかかる費用、大型・大型特殊免許取得にかかる費用の一部を支援する経費を計上いたしました。
	査定額 700 ○実施				700	
消防車両・防火衣更新事業 老朽化している名寄消防署の資機材搬送車両と、消防団員の防火衣を更新し、消防体制の充実を図ります。	要求額 16,463				16,463	消防車両については、適時、更新してまいりましたが、車種によっては非常に高額となり、なかなか計画的な更新ができていない状況です。 令和3年度予算要求にあたり、名寄消防署より、資機材搬送用の車両と、一般業務や出張用の車両の更新要求がありましたが、優先順位等から、一般業務用車両は次年度以降に先送りとし、資機材搬送車両の更新費用を計上いたしました。 また、消防団員の防火衣につきましては、古いタイプのもを長く使用しており、現在求められている基準を満たしていない防火衣でした。このことから更新について議論を行ってまいりましたが、北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業（当該組合が市の代わりに物件を購入し譲渡を受けることで、低利での物件購入、複数年に渡る分割払いによって費用の平準化が可能となる事業です。）を活用して更新することとし、地域防災の中核を担う消防団員の災害現場での安全確保を図ります。
	査定額 8,058 △一部見直し		7,900		158	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
名寄地区中学校施設整備事業 名寄地区にある中学校2校の、改築や改修等の学校施設整備の方向性を検討するため、耐力度調査を実施します。	要求額 0				0	名寄地区の中学校2校は、それぞれ昭和52年、昭和56年の建築で、老朽化が進んでおり、耐震化も未完了であることから、改築もしくは改修等の施設整備が必要な状態です。 しかしながら、学校整備は多額の費用を要し、また、改築場所についても、生徒の学習環境に大きく影響を与えることになることから、慎重に議論を進める必要があります。 これらのことから、名寄中学校・名寄東中学校、両校舎の劣化状況などを詳細に把握して、名寄地区における中学校整備の方向性についての検討を進めるため、耐力度調査にかかる経費を計上いたしました。
	査定額 6,000 ○追加して実施			6,000	0	
ピヤシリシャンツェ改修計画委託 ピヤシリシャンツェの老朽化による破損箇所を正確に把握し、適正な改修を行っていくための改修計画を策定します。	要求額 2,330				2,330	ピヤシリシャンツェは、大会・合宿における集客力が高い施設であり、本市の冬季スポーツの優位性を保ちつつ、交流人口を拡大させるには必要な施設ですが、平成13年に国体の開催に合わせて大規模改修を行ってから20年が経過し、老朽化が進んでいる状態で、適切な改修が必要です。 令和3年度予算では、今後、計画的に必要な改修を行っていくため、施設の状態調査と、改修計画の策定を専門業者に委託する経費を計上いたしました。
	査定額 2,330 ○実施			2,000	330	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
スポーツセンター暖房設備改修実施設計委託 老朽化したスポーツセンターの長寿命化、利用者への快適なスポーツ環境提供のため、暖房設備改修の実施設計を行います。	要求額 6,248				6,248	スポーツセンターの暖房設備は、これまでも小規模な修繕を実施してきましたが、老朽化が進み、全面的な改修が必要になってきたことから、改修に向けた実施設計を行います。 なお、暖房設備の改修に際しては、既存の暖房システムを踏襲するのではなく、効率的な暖房効果による省エネ・環境負荷軽減と、施設の長寿命化を考慮し、利用者の満足度向上につながる暖房システムを採用するよう議論を進めます。 改修工事は、各競技団体・利用者との調整、周知を要するため、令和4年度もしくは令和5年度になる見込みです。
	査定額 6,248 ○実施			6,000	248	
大学院設置調査事業 名寄市立大学の将来構想（ビジョン2026）中期実施計画に基づき、大学院設置に向けた事前調査を行います。	要求額 0				0	北海道北部における高等教育機関として、保健・医療・福祉・保育の各分野に関する学術の発展に貢献し、実践活動の理論的基盤の構築を担える人材、さらに大学の教員として寄与できる人材を育成するため、大学院の設置に向けた、具体的な検討を始めていきます。 令和3年度は、修士課程の大学院設置に向けた教員組織体制整備の課題の整理、検討について、専門的な知見を有する外部機関に委託する経費を計上いたしました。
	査定額 3,100 ○追加して実施			3,100	0	